

無石綿



JIS A 5557

認証番号 CE 03 08 032



JIS A 5548

認証番号 CE 03 08 026

# NS弾ボンド

下地調整・内・外装タイル用接着剤

JIS A 5557・JIS A 5548 タイプ I 表示認定製品・F☆☆☆☆

NS弾ボンドは変成シリコーン樹脂を主成分とした、下地調整、内・外装タイル用接着剤です。一液タイプのため作業効率がよく、各種下地に安定した接着力と優れた応力緩和性を発揮します。

特長

- 湿式および乾式下地の内・外装タイル張りに使用できる接着剤です。
- 無溶剤、一液型弾性接着剤ですので、臭いも少なく作業性に優れています。
- NS弾ボンドによるタイル張り前の下地調整（部分補修）として使用できます。
- フィルムパック包装ですので、廃棄物が少なくなります。

## 標準仕様

### ■タイル張付け材として

荷姿	適用下地	適用タイル	標準使用量
18kg/箱 (2kg×9本)	コンクリート、モルタル、 押出成形板、合板、各種乾式ボード、 無塗装サイディング、ALCパネル*、 タイル、木材、成型FRP	接着剤張り専用タイル	3mmくし目平滑下地 約1.5kg/m <sup>2</sup>
		裏足のあるモザイクタイル 小口平タイル、二丁掛タイル	5mmくし目平滑下地 約2.0kg/m <sup>2</sup>

\*別紙「ALCパネル下地の外装タイル張り工事」施工マニュアル参照

### ■下地調整塗材（部分補修）として

荷姿	適用下地	適用仕上げ	塗厚	標準使用量
18kg/箱 (2kg×9本)	コンクリート、モルタル、 押出成形板、無塗装サイディング、 ALCパネル*	セラミックタイル (NS弾ボンド張り)	1～3mm	4.1～4.5kg/m <sup>2</sup> (3mm厚)

\* ALCパネル下地には、下地処理 (JIS A 6916 の C-2) をおこなってください。

### <施工上の留意事項>

使用できない下地	・アスファルト下地 ・常時 80℃以上の高温がかかる下地
注意が必要な下地	・収縮の大きい乾式ボード下地(タイルの割れ防止のため、板間を不織布付きプチルテープで絶縁してください) ・サイディング材で表面強度の弱いものや、吸水が著しいもの(品質が確認されているものをご使用ください) ・ワックス表面 FRP (サンドペーパー掛けが必要です) ・経年劣化下地 (改修・補修) の場合 (下地強度の調査・補修が必要です) ・ポリマーセメント系塗膜防水材 (NS ポリマーミックス#15 を厚さ約 1mm で塗り付け、十分に養生をおこなってください)
確認が必要な下地	・塗装されている下地
注意が必要な仕上げ	・重いタイル、大きいタイル (事前にズレ等の作業性を確認してください) ・擬石 (セメント系擬石は白華する可能性があります) ・石材 (表面に染みができる場合がありますので裏面プライマー処理をおこなってください)
使用できない箇所	・直火が当たる場所 ・浴槽内等で常時水に浸漬している箇所
目地詰め	・必ず目地詰めを行ってください

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

## 性能

### ■タイル張付けの性能 (JIS A 5557:2010 による接着試験)

試験条件	引張り 接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	凝集 破壊率 (%)	品質基準*	
			接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	凝集 破壊率 (%)
標準養生	1.04	100	0.60 以上	75 以上
低温硬化養生	0.94	100	0.40 以上	50 以上
アルカリ温水 浸せき処理	1.02	100	0.40 以上	50 以上
凍結融解処理	1.08	100	0.40 以上	50 以上
熱劣化処理	1.32	100	0.40 以上	50 以上

注) \*: JIS A 5557:2010 の品質基準

※上記試験結果は、JIS 等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

### ■下地調整材の性能 (JAI 18<sub>-2015</sub>\* による接着試験)

試験条件	引張り 接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	凝集 破壊率 (%)	品質基準**	
			接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	凝集 破壊率 (%)
標準養生	0.83	100	0.60 以上	75 以上
低温硬化養生	0.77	100	0.40 以上	50 以上
アルカリ温水 浸せき処理	0.85	100	0.40 以上	50 以上
凍結融解処理	0.87	100	0.40 以上	50 以上
熱劣化処理	1.42	100	0.40 以上	50 以上

注) \*: 日本接着剤工業会規格 外装タイル張り用有機系下地調整塗材

\*\* : JAI 18-2015 の品質基準

## 施工法(下地調整)

### 下地の清掃

下地の精度、浮き等のない乾燥した下地であることを確認し、表面の汚れ、型枠剥離材、レイタンス等を除去してください。

- \* タイル面の仕上り精度は、下地精度により大きく影響されますので、下地の点検は入念におこなってください。
- \* 下地の清掃は入念におこなってください。
- \* 接着性の低下原因となりますので、被着部(下地、タイル裏面等)には吸水調整材(NSハイフレックス HF-1000等)を使用しないでください。
- \* 下地の乾燥度合いは手で触って湿っていない程度であれば、施工可能です。

### 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。

- \* 標準の塗り厚は3mm以下としてください。塗り厚が厚くなると硬化時間が長くなり、また、補修部分の面精度が得られない可能性がありますので注意してください。
- \* 型枠目違い程度の部分補修が標準です。面塗り補修では、タイル張り仕上げに要求される精度が得られない可能性がありますので注意してください。
- \* 塗り付けは、NS弾ボンドの可使用時間内におこなってください。可使用時間の目安は、夏季30分以内、冬季90分以内です。なお、気象条件により可使用時間の変動がありますので、注意してください。可使用時間を超過すると表面に凹凸が残る場合がありますので注意してください。
- \* 直射日光が当たる場合は可使用時間が短くなるので十分注意して施工してください。
- \* 補修面積が大きく、塗り厚が厚い(4mmを超えるような)場合には、NSポリマーミックス(CM-2相当品)等を用いて補修してください。
- \* 閉鎖空間(ロビー、台所、風呂場等)での使用は、臭いごもりやすく且つ、臭いの元となる成分が揮発しにくいと考えられるため、NS弾ボンドの施工中および施工後は、臭いが気にならなくなるまで換気を十分おこなってください。

### 塗付け

NS弾ボンドの硬化前に雨・雪掛かりが予想される場合には、養生シート、覆い等で養生をおこなってください。

- \* 硬化時間の目安は厚さ2~3mmの場合、20℃で塗り付け後、約12時間です。なお、塗り厚が厚くなると硬化するまでの時間が長くなりますので注意してください。
- \* 低温時は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認した上でタイル張りをおこなってください。特に終日5℃を下回る環境では、硬化まで2日程度かかる場合がありますので、必要に応じてタイル張りの前に保温、採暖等の養生をおこなってください。

### タイル

塗付けたNS弾ボンドが硬化していることを確認して、NS弾ボンドを用いてタイルを張付けてください。

- \* 下地が未硬化の状態できし目ごてを用いてNS弾ボンドを塗り付けると下地の未硬化のNS弾ボンドが剥がれる恐れがありますので注意してください。

- 5~40℃の環境温度でご使用ください。
- 降雨、降雪時の施工は避けてください。
- タイルに付着した場合は、硬化する前にウエス等で拭き取ってください。
- 湿気で硬化しますので、開封後は早めに使い切ってください。
- タイル用途以外には使用しないでください。
- 下地の防水は、接着剤施工とは別におこなってください。
- 製品は製造年月日を確認し、12ヶ月以内を目安に使用してください。



### 使用上の注意

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

 **日本化成株式会社**



製品問合わせダイヤル  **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。

## 施工法(タイル張り)

### 下地の清掃

下地の精度、浮き等のない乾燥した下地であることを確認し、表面の汚れ、型枠剥離材、レイタンス等を除去してください。

- \* タイル面の仕上り精度は、下地精度により大きく影響されますので、下地の点検は入念におこなってください。
- \* コンクリート、モルタル等のセメント系下地の乾燥は夏季1週間以上、冬季2週間以上おこなってください。
- \* 下地調整をNS弾ボンドでおこなった場合は、塗り付けたNS弾ボンドが硬化していることを確認してください。
- \* 下地の清掃は入念におこなってください。
- \* 接着性の低下原因となりますので、被着部(下地、タイル裏面等)には吸水調整材(NSハイフレックス HF-1000等)を使用しないでください。
- \* 下地の乾燥度合いは手で触って湿っていない程度であれば、施工可能です。

### 塗付け

くし目ごてを用い、フラット部で下地に平坦に塗り付けた後、こて角度約60度できし目をたてて塗り付けてください。くし目の方向はタイル裏足に対して斜め45度になるようにしてください。

- \* 塗布量の目安は、3mmくし約1.5kg/m<sup>2</sup>、5mmくし約2.0kg/m<sup>2</sup>です。

### タイル張付け

タイルをもみ込むように圧着し、さらにたたき板を用いてたたき押しをおこなってください。

- \* タイルの張付けは、NS弾ボンドの可使用時間内におこなってください。目安は塗布後、夏季30分以内、冬季90分以内です。なお、気象条件により可使用時間の変動がありますので、注意してください。
- \* 直射日光が当たる場合は可使用時間が短くなるので十分注意して施工してください。
- \* タイル張付け後、2~3mに一度タイルを剥し、NS弾ボンドの付着量が60%以上かつタイル全面に均等に付着していることを確認してください。
- \* 閉鎖空間(ロビー、台所、風呂場等)での使用は、臭いごもりやすく且つ、臭いの元となる成分が揮発しにくいと考えられるため、NS弾ボンドの施工中および施工後は、臭いが気にならなくなるまで換気を十分おこなってください。

### 目地直し

NS弾ボンドの可使用時間内に目地直しをおこなってください。

- \* NS弾ボンドの可使用時間を過ぎてからの無理な目地直しは接着不良の原因となります。

### タイル清掃

タイル面にNS弾ボンドが付着した場合、NS弾ボンドが硬化する前に、有機溶剤(シンナー、アセトン)を用いて取り除いてください。なお、硬化した後は、カッター等を用いて削り取ってください。

- \* 有機溶剤での拭き取り清掃はタイル表面のみにしてください。接着層に溶剤が浸透すると、接着不良の原因となりますので注意してください。拭き取りできない汚れについては、硬化した後、カッター等で除去してください。

### 養生

NS弾ボンドの硬化前に雨・雪掛かりが予想される場合には、養生シート、覆い等で養生をおこなってください。

- \* 硬化時間の目安は厚さ2~3mm(約2.0kg/m<sup>2</sup>)の場合、20℃で塗り付け後、約12時間です。なお、塗り厚が厚くなると硬化するまでの時間が長くなりますので注意してください。
- \* 低温時は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認した上で目地詰めをおこなってください。特に終日5℃を下回る環境では、硬化まで2日程度かかる場合がありますので、必要に応じて目地詰め前に保温、採暖等の養生をおこなってください。